授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	松本和剛	実務経験の有無	無	開講期	3 年前期
科目ナンバリング	W4-3003sR				

【授業の主題】

社会福祉実践の場では単にクライエントとソーシャルワーカーの関係だけに焦点を当てればよいのではなく、クライエント周囲の家族や社会関係も援助対象として考えなくてはならない。本講義では今後の社会福祉士として求められる包括的な支援とはどのようなものかを学んでいく。

【到達目標】

1.包括的支援体制の仕組み、必要な知識、技術を習得する。
2.援助関係形成の方法や必要な知識を理解する。
3.ソーシャルワーク実践に必要な社会的仕組みや知識を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　総合的かつ包括的な支援の考え方
第 2 回　家族支援の実際①
第 3 回　家族支援の実際②
第 4 回　地域支援の実際①
第 5 回　地域支援の実際②
第 6 回　非常時や災害時支援の実際
第 7 回　援助関係形成の意義と概念
第 8 回　援助関係の形成方法と留意的①
第 9 回　援助関係の形成方法と留意的②
第 10 回　ネットワーキング
第 11 回　コーディネーション
第 12 回　社会資源の活用・調整
第 13 回　ソーシャルワークの実践と社会資源
第 14 回　社会資源開発のさまざまな方法
第 15 回　まとめ

【授業実施方法】

講義、演習、グループワーク、ロールプレイを取り入れて行う。講義についての「リアクションペーパー」作成を必須とする。

【事前・事後学習】

・教科書の講義内容に関する部分を読み、不明点を調べる等、事前学習を 2 時間以上行うこと
・講義内容を踏まえ、復習・考えの整理を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ、Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワークの理論と方法[社会専門]』中央法規、2021 年

【参考文献】

講義内で都度紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験　80%　リアクションペーパー　10%　講義への取り組み（演習等）　10%

【学生へのメッセージ】

日々の支援は教科書通りに行くものではありませんが、基本的な仕組みと知識を持ったうえでしか専門職としての臨機応変な対応はできません。社会福祉士として必要な知識を色々なケースを通して学んでいきましょう。